日本医史学会役員氏名(五十音順)

常任理事 会理 事 関根 大鳥蘭三郎 恭男 雄 (第八 一八十八 シ 卓 爾 .7" 回

理 会計監事 藤野恒三郎 宗酒蒲田井原 大鳥 恒宏郎 古川 明 杉田 蔵方 緒方 暉道 宏昌 富雄 矢数 富士 杉立 酒井 川喜 川英郎 愛郎 道明 義一 シヅ 恭男

矢 大 部 村 事 敏郎 深 瀬 泰 旦

谷津

形

中筒立関小加奥大岩川井川根曽藤村村治 昭正 豊 敏二雄洋明武郎 勇雄 合によっては論文位の量のものも見られ、 た。 待望しております。 演要旨」は、 論考をいただきましたが、安藝先生 の投稿のみならず、会員の方々の論 を多く載せていきます。 今迄のもの もっと短か目のも 0 中には、 また、 研究 次号 方一 11 カン 1

久加藤田 大島 市 正 衛四 雄 夫 報 昭 華 夫 報 昭

土屋 重朗 田中 助一 助一

寺津田

田代

末中

哲夫

山安中井 本間 樋口 西川沢 森 誠太郎 豊彦 太太太納 邦則 山山守本下屋 三輪 丸 深山 瀬 服中西 喜明 卓 泰敏 正爾博旦良啓 米山田田 矢数 室松福原中賀木島田山 光圭昭明義康胤堂三知一夫沃

理事の名は省略

左武郎

それならば、 ものと考えたからです 論文として投稿い ただきた

討中で、 裕 体的なものになるはずです。 通常の委員会の折には、 たい がないので、 投稿規定」につきま と思っております。 新しい規定は、 臨時の会合をもうけて、 L 次号あたりに発表 時間的に検討の T 内容はかなり具 は 月 検 余 0

編 後 記

は、 究ノ た 大会口演抄録号として、 前号では「広場」として、安藝先生 大い 1 この抄録の中から、 ĺ トが生まれることを、 遅れましたが、第三十三巻第 に期待しております。 充実した論文や研 発刊い 編集委員会 のとしまし たし 例 5 一のさら まし 号を 会講 稿を の御 一書

昭昭 印 発 編集者代表 日本医史学雜誌 和和 六十二年 年 千二年 行 届 〒 第三十三巻第一 干所 月月 大 八三十五日 鳥 + 闡 発印 郎

い